

聾史探訪

『富山聾史と信濃聾史との奉仕活動をやって』

富山聾史研究グループは、「日本初のろうあ者校長として知られる金沢盲啞院長の松村精一郎先生（1849～1890）」のお墓にて年一回草取りの奉仕活動を行っている。

去る8月3日（日）富山聾史メンバー3名と信濃聾史メンバー2名と一緒に松村先生のお墓へ出かけた。暑い中、草取りを1時間位行い、お花と線香を供えた。

そして松村先生の生家を訪ね、ご遺族の人からご案内を頂き、歴史探訪を楽しんだ。



『富山県立高岡ろう学校の訪問』

昼食後、富山県立高岡ろう学校での校長先生の銅像があると聞いたので、ろう学校へ出かけた。職員がいらっしやったので、校内見学をしたところ、中庭に銅像を見つけた。銅像の台座には陶芸レリーフがはめ込んであり、「これは児童生徒たちが心を込めて作ったもの」と言う話を聞いて、素晴らしい作品だと思った。

暑い中、富山聾史の方々よりお世話になりながら、信州へ無事に帰った。



(協力：富山聾史代表 橘さん、高岡ろう卒業生 益塚さん、信濃聾史：内田)